



## ガソリン携行缶を安全に取り扱いましょう

夏になり暑い日が続いています。お祭りの発電機や住宅周辺環境整備（草刈り）で使用する刈払機の給油のためにガソリンを携行缶で保管しているかと思いますが、暑い日になると携行缶内部が温められて圧力が上昇します。その状態で蓋を開けると大量の可燃性蒸気が放出されます。可燃性蒸気は静電気のような小さな火源でも火災になる非常に危険なものです。ガソリン携行缶を安全に取り扱うために、次の事項に注意しましょう。



### 1. 直射日光の当たる場所、高温の場所に置かない

夏季はもちろんですが、それ以外の時期でも可燃性蒸気が大量に噴き出す可能性があるため日陰の風通しの良い場所に置きましょう。

### 2. 周囲の安全確認を徹底する

周囲に火源となりそうなものがないことを確認しましょう。特に発電機などに注油する際にはエンジンを停止しましょう。

### 3. ガソリンの蓋を開ける前に、エア抜きの実施

携行缶の内圧が高まっている可能性がある場合は、蓋を開ける前にエア抜きをしましょう。ただし直射日光により携行缶自体が暖められている場合は、蓋を開けることもエア抜きも厳禁です。周囲に火気や人がいない日陰の風通しの良い場所に移動させ、常温程度まで温度が下がった後にエア抜きを実施しましょう。

## 第9回消防キッズフェア開催！

海の日である7月15日（月）に「第9回消防キッズフェア」が開催されました。参加者は約150人の親子や子ども達が来場。今回のキッズフェアは放水やロープ渡り、心肺蘇生法の体験など、消防でしか体験できないものに特化し、より消防に興味を持ってもらえるような内容で行いました。また、体験してくれた子ども達には、熱中症対策にもなるミストファンや、お菓子の詰め合わせをプレゼントしました。

配布したミストファン



今後も火災のない明るい村づくりのため、村民の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



## 全道消防救助技術訓練指導会に出場!!



7月13日、第52回全道消防救助技術訓練指導会が札幌市消防学校で開催されました。全道各地から救助隊員約250名が集まり、全国大会への出場権獲得を目指し日頃の訓練の成果を発揮しました。



鶴居消防署からは「ロープブリッジ渡過」の部に石井司令補「ほふく

救出」の部に山下司令補、加藤士長、東副士長が出場しました。今大会において石井司令補が見事道東地区**1位の成績**を収め、「全国消防救助技術大会」への

切符を勝ち取りました!! 「ほふく救出」では惜しくも入賞とはなりませんでしたが、全国大会出場を決めた石井司令補は「北海道代表として、胸を張って頑張りたいです!!」と決意を新たにしていました。全国大会は8月23日、千葉縣市原市において開催されますので応援よろしくお願ひします。



9月1日は「防災の日」です。大正12年（1923年）のこの日に発生した「関東大震災」を教訓に、防災を見直すために定められた日です。また、この時期に多く発生する台風への心構えの意味も含め昭和35年（1960年）に制定されました。平成23年の東日本大震災、記憶に新しい令和6年の能登半島地震は、いざ、という時、大切な命や財産を災害から守るには日頃から危機意識を持つことが大切です。今の備えを再点検し、緊急時の連絡方法、帰宅経路の確認、食料品の確保など、ぜひご家族で話し合ってください。

### 避難所・避難場所・福祉避難所の違いをわかってもらえますか？



#### ・「避難場所」

火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む先。河川敷や大きい公園など、広いスペースが指定されています。

#### ・「避難所」

災害のため自宅で過ごすことが困難になった時、一定の期間、避難生活をする場所（学校や公民館など）。

#### ・「福祉避難所」

福祉避難所とは、要配慮者（主として高齢者、障がいのある人、乳幼児その他の特に配慮を要する者）のための避難所のことであり一般の避難所では生活することが困難な要配慮者が、避難所での生活において特別な配慮が受けられるなど、要配慮者の状態に応じて安心して生活ができる体制が整備された施設です。

上記のような避難先を知るために役立つのが、「**防災マップ**」です。

鶴居村でも、避難場所等がホームページ掲載してあるので確認しておきましょう。また自分の判断で適切な避難をするために、生活する地域のリスクを知っておきましょう。

鶴居村ホームページ「避難所」掲載アドレス

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/kurashi/bousai/hinanbasho.html>（資料提供：鶴居村役場総務課）